

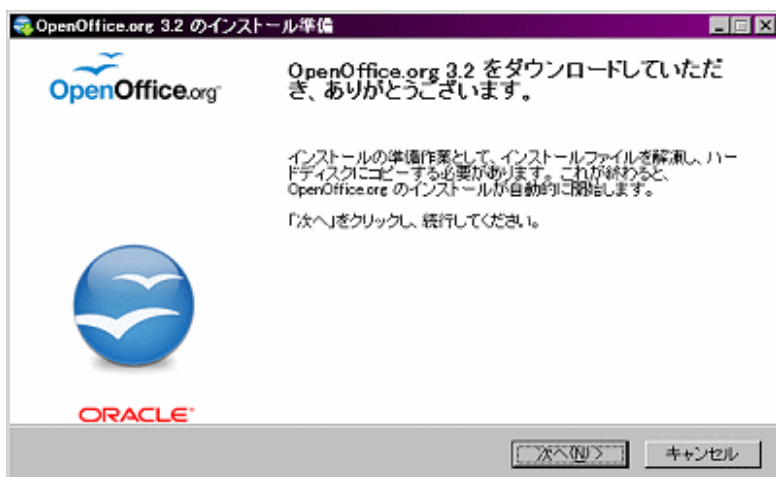
■ (3.2.1 向け) Windows 版のインストール手順

OpenOffice.org3.2.1、Windows 版のインストール手順を簡単にまとめました。

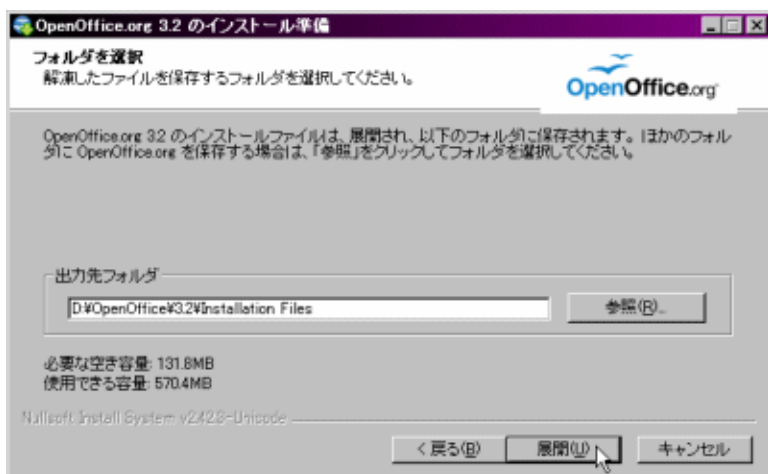


OOo_3.2.1_Win_x86_installer_ja.exe

1. ダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックして実行する。
(JRE のありなしによってファイル名が変化しますのでそれぞれのファイル名に置き換えてください)



2. 「次へ(N)>>」をクリックします。



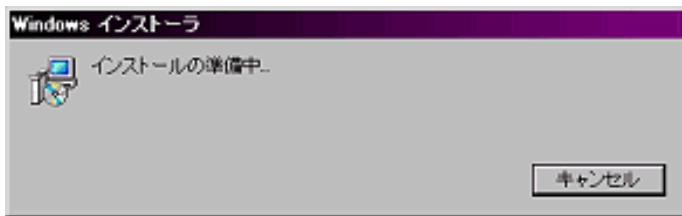
3. 中身を指定したフォルダーへ展開する作業を行うため「一時ファイル」の出力先を指定します。

空き領域に余裕がある場所を指定します。この場所へ展開される一時ファイルは後で削除する必要があるので指定した場所を把握しておきます。

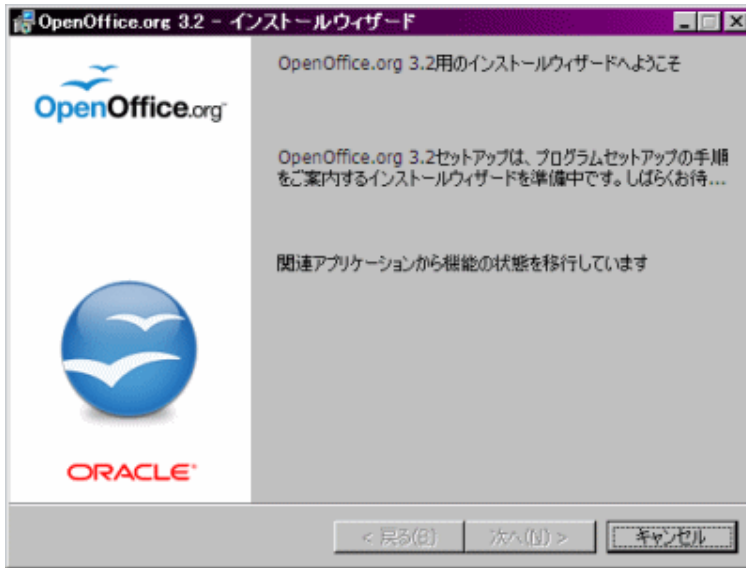
※【重要】展開先のフォルダー名がデスクトップなど日本語を含む場所への指定は避けた方が無難です。



4. 指定したフォルダーへの展開作業が始まります。しばらくお待ちください。

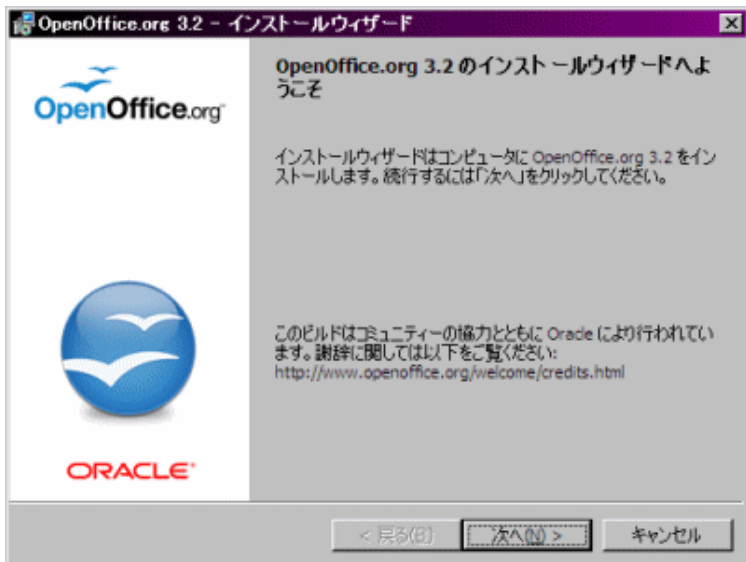


5. 展開作業が完了すると、自動的にインストール本体のプログラムが起動します。

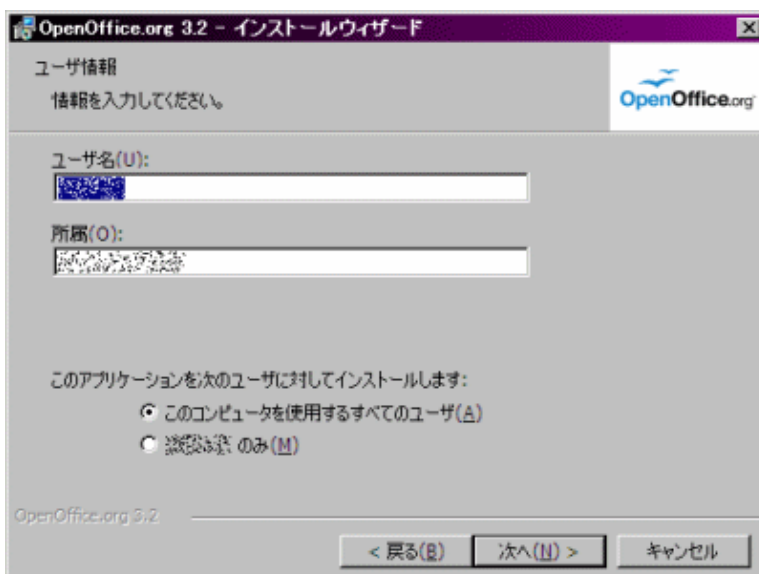


6. 空き領域や、以前のバージョンの有無などの調査を行っています。

※ 以前のバージョンの環境を引き継げる場合にはこのように「移行しています」というステータスが表示されます。

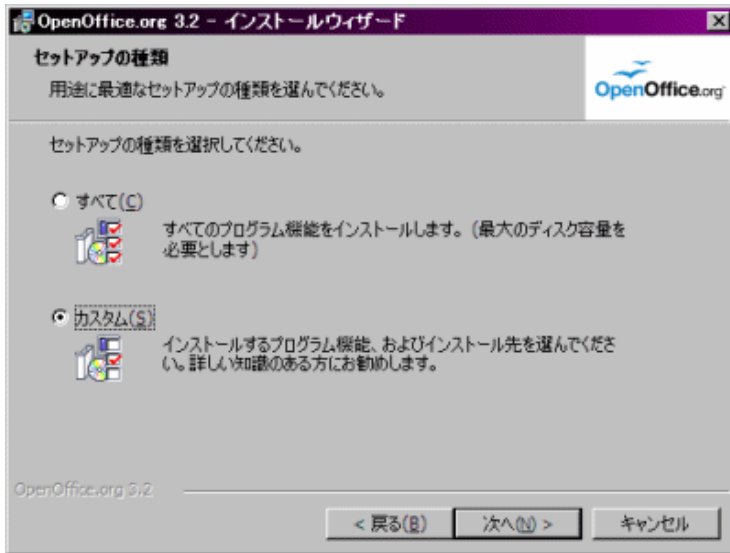


7. 完了すると「次へ>>」のロックが解けるので、クリックして次画面へ進めてください。

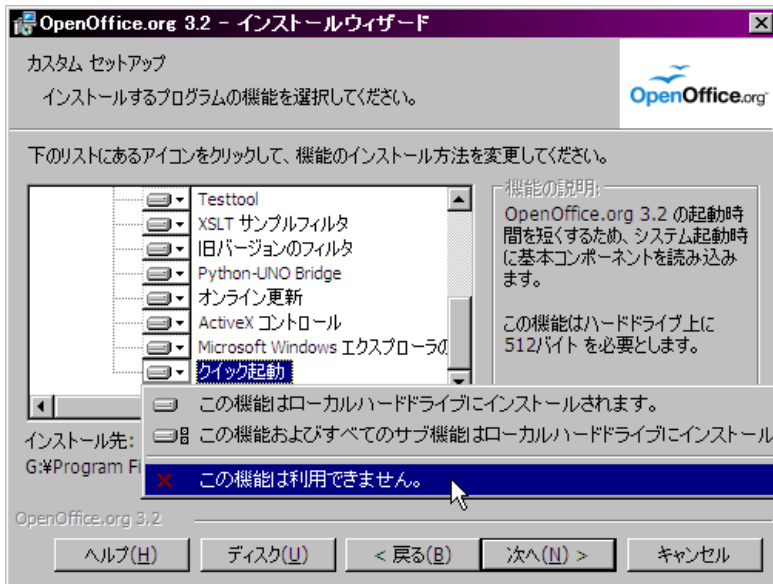


8. あなたのお名前や所属(会社名や部署名)を入力してください。

入力したら、下部分にある「このコンピュータを使用するすべてのユーザー」を選択して、「次へ」をクリックし、次画面へ進めます。



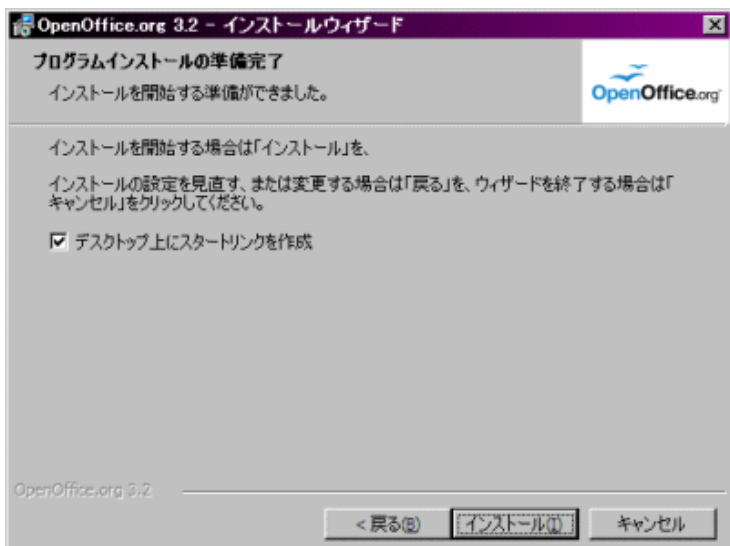
9. ここではインストールの方法が選択できますが、今回は「カスタム」を選択して「次へ」をクリックして次画面へ進めます。



10. インストールオプションを設定できますが、特に理由がない限り「クイック起動」以外はすべてインストールします。「クイック起動」項目横のアイコンをクリックし、「この機能は利用できません」を選択してください。

「インストール先」がすでに自動設定されていますが、他の場所にインストールしたい場合には「変更...」をクリックしてインストール先のフォルダーを指定してください。

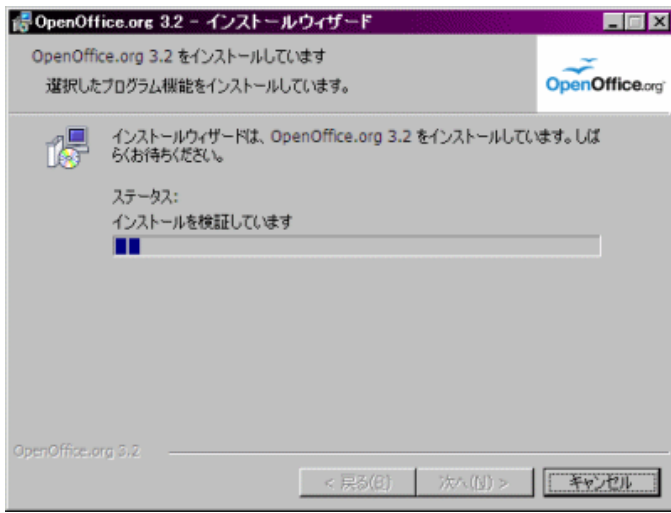
完了したら「次へ」をクリックして次画面へ進めます。



11. インストール前の情報がすべて収集されました。

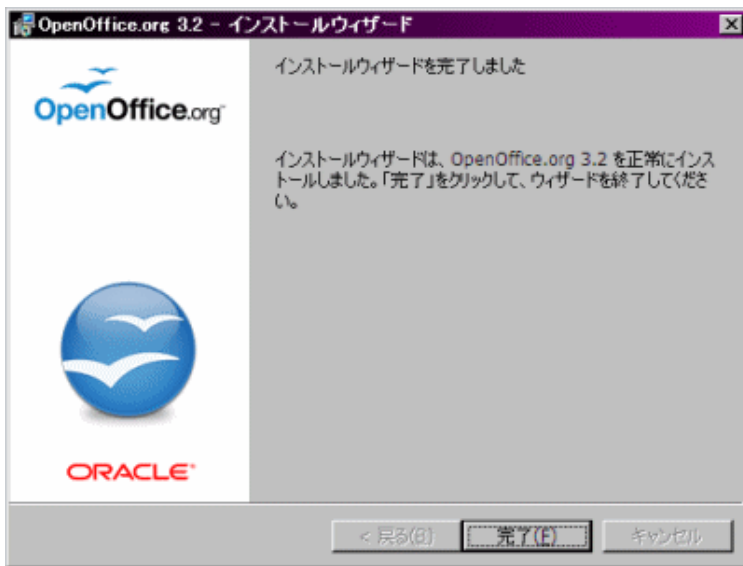
「デスクトップ上にスタートリンクを作成」部分のチェックを入れておくと、OpenOffice.org 起動のためのアイコンがデスクトップにも作られます。これは各自自由に設定してください。

「インストール」をクリックしてインストールを開始してください。



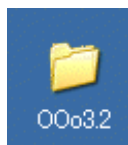
12. インストールが始まります。

※ 以前のバージョンの環境を引き継ぐ場合は、前バージョンのプログラムの削除・拡張機能や各種設定の移行も行われるため、進捗に多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。



13. インストールが完了しました。

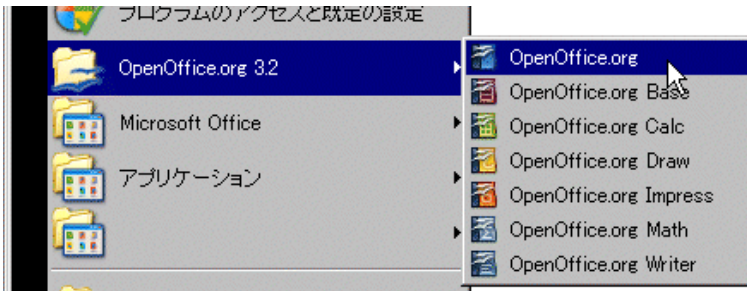
「完了」をクリックしてください。



14. 「一時ファイル」の削除。

「手順3」で展開された「一時ファイル」をフォルダーごと削除してください。

※ ダウンロードしたインストールファイルのほうは、他のPCへインストールとかバックアップなどでメディアに保存するとかいう以外、こちらも削除してかまいません。

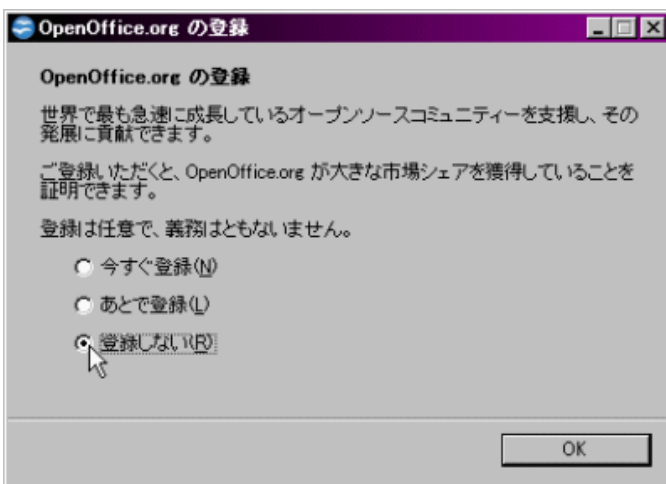


15. スタートメニューに登録された「OpenOffice.org3.2」→「OpenOffice.org」をクリックします。

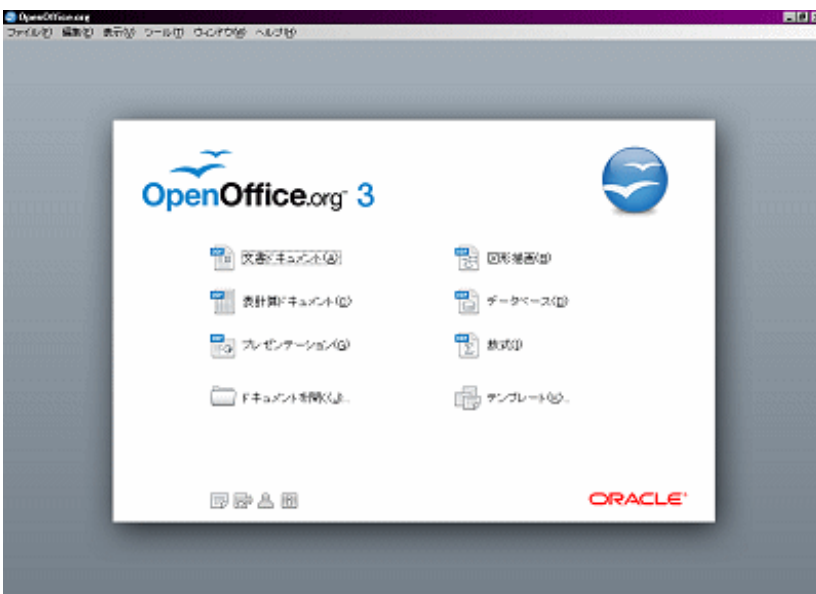
※ 左図はスタートメニューの構成を変更しているため皆様の環境では異なる場合がございます。



16. OpenOffice.org が起動します。



17. 初回起動時はこのような登録ダイアログが出ますが「任意なので登録しない」を選択して「OK」をクリックします。



18. 「スタートセンター」が表示されました。

ドキュメントの作成を開始するには、目的に応じたツールのボタンをクリックしてください。